

# 英文読解八ちゃんの法則50

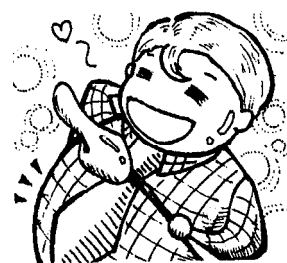
【改訂版】

2017年7月現在

次のポイントが理解できているかチェックしてみましょう。(八幡)

## 最新版

- 1. 英語の力は読んだ英文の量に比例する！ 多読！多読！多読！
- 2. 英語の力は引いた辞書の回数に比例する！～ひたすら辞書を使い込む 紙の辞書を汚すのだ！入門期は電子辞書ではダメ！
- 3. 単語の記憶は英語学習の80%！ 勝負の分かれ目は「語彙力」だ！棒暗記・根性論では大学・社会に出てから通用しない！
- 4. 音読するためにフォニックスの基本 自分で読めない単語は覚えられない！読めない単語は聞こえない！
- 5. アクセントの基本法則 (例) 双子の法則 三味線語ルール イクイクルール ヤンヤンヤスヤントヤリテエの法則  
4 al の法則 子チビ母チビの法則 オロジーの上 あぶる朝へと合図 ※知っていて損はない
- 6. 英語と日本語の訳語は「1対1」ではない！ 英和辞典の解説をよく読め 意味がズレているものには要注意 「マンション」vs mansion  
※「カタカナ語」には要注意！一センター試験にも頻出 (近年は減少傾向だが…)
- 7. 英文の区切り方～意味のかたまりを意識せよ 区切りは次の5つ→最初はスラッシュ ( / ) を入れながら→慣れてきたら頭の中で  
①コンマの後 ②動詞の前後 ③前置詞の前 ④関係詞の前 ⑤接続詞の前
- 8. 直読直解方式の読みをマスターせよ～同時通訳の心だ！左から右へ順に読め！後ろから前へ返り読みするのではない！
- 9. テーマ発見のテクニック ※否定文の後には要注意  
①段落の最初と最後は要注意！ ②「しかし」(but, however)の後 (筆者の主張) は要注意！ ③疑問文 (問題提起) は要注意！
- 10. 1パラグラフ1トピックの原則 1つの段落で言いたいことは1つだけ！  
書き出しにテーマ → 最終文は次のパラグラフの予告・橋渡し 文頭の And...はまとめ
- 11. 英語の基本は「主語+動詞」～家政婦は見た！ 「何が」→「どうした」or「どうなのか」
- 12. 「抽象」から「具体」の原則～英語らしさの本質 ※**具体**をヒントに**抽象**を考える 固有名詞は具体例
- 13. 英文展開の基本パターン  
**主題の提示** (序論) → **主題の展開** (本論) → **主題の再提示** (結論)
- 14. 二項対立 (対比) に注目 **一般論** vs **筆者の主張**
- 15. 情報構造の原則 「旧情報」(既知) から「新情報」(未知) へ  
●旧情報 (既知の情報) = お互い了解済みのこと → なるべく前に置く  
●新情報 (重点情報) = 相手が知らないであろうこと → なるべく後ろに置く
- 16. スキミング (本文を一読して大意を把握) とスキヤニング (本文のどの箇所に設問のポイントが書かれていたか)
- 17. 「文脈」とは？未知の語句は「文脈」から類推せよ！手がかりは以下のもの  
①言い換え ②具体例 ③因果関係 ④対比
- 18. コンマ、ダッシュ、コロン、セミコロン、引用符にも注意せよ こういった記号にも意味が込められている！  
— (ダッシュ)・・・前の説明・例示「すなわち、つまり」 : (コロン)・・・前文の補足・説明・具体化「すなわち、つまり」  
; (セミコロン)・・・接続詞の代用=対比と理由 ” ” (引用符)・・・「いわゆる、世間で言うところの」  
(and, but, or, so, for) (私はそうは思わないが…)
- 19. 「並列」は同じ物が並ぶ (and, but, or, so, for) → and (等位接続詞) が出たら何と何を結んでいるかを確認せよ
- 20. コンマ1つはそこが切れ目、コンマ2つはその部分を飛ばして読め (挿入)
- 21. 指示語に注意～指すものは直前にあり、日頃から絶えず意識しながら読め 直前：直後＝9：1
- 22. 「つなぎ語」4種類に要注意 ※文と文の論理関係を意識 cf. 『2017年英語センター対策本』pp.93-94  
①逆接 (⇔) ②因果関係 (→) ③追加 (+) ④言い換え (=)
- 23. 英語は同じ単語を繰り返さずに、似た表現に置き換える＝「言い換え」 同意表現の対応関係を見抜く語彙力  
筆者の主張したい重要なポイントは言葉を変えて繰り返される (「リフレインが叫んでる」松任谷由実)
- 24. 「原文典拠の法則」 正解は必ず本文に求める 何となく選ばない キーワードは名詞と動詞 判断の根拠を痕跡 (下線) に残せ！  
解答は必ず本文該当箇所をベースにして→該当箇所の発見&正確な解釈が全て 解答の原則は「抜き出し」自分の言葉は極力使わない
- 25. 5W1Hの法則～物語文読解の鉄則  
when (いつ) where (どこで) who (誰が) what (何を) why (なぜ) how (どのように)
- 26. 筆者の「主張」を示す表現は？こういった語 (表現) に注意！  
① should/ must/ need/ have to/ had better/ ought to/ can/ 強調の do などの助動詞の後  
② important/ necessary/ essential/ good/ bad などの主観的判断を表す形容詞の後 cf. significant/ fundamental/ critical/ crucial/ vital  
③ I think[suppose]/ I believe/ I'm sure/ I hope[wish]/ In my opinion/ As for me/ As far as I'm concerned/ So など自分の見解を述べる表現の後  
I wonder/ I'm not sure/ It's doubtful など懸念を表す表現の後  
④ 逆接 (but/ however/ yet/ still/ though) の後  
⑤ in fact/ actually/ indeed などの副詞 (語句) の後  
⑥ 「例えば」(for example) 「なぜなら」(because) 「第一に」(First, to begin with) の直前の英文  
⑦ seem/ appear/ look の後
- 27. 主張の展開パターンとは？次の3つだ！  
① **一般論** → but/ however → **自分の意見**  
② **自分の意見** → **具体的な説明**  
③ **具体例** → therefore/ thus → **自分の意見**



- 28. 段落の要旨を意識 ※キーセンテンスは冒頭と末尾に来ることが多い 1つの段落で言いたいことは1つだけ!
- 29. 「無生物主語構文」は副詞的に「～で」と訳せ ～「出川の鬼」(佐川春水: 松江北高卒業生) ⇒ 因果関係あり  
でがわ おに さかわはる み
- 30. 簡単な単語をおろそかにしない! [例] of だけでも「～が」「～の」「～を」「～という」の4種類ある
- 31. 多義語に注意! その関連にも気を配れ (主格) (所有格) (目的格) (同格)
- 32. 「名詞モード」から「動詞モード」へ! 「名詞」は元の「動詞」に戻して訳すとスムーズな日本語に! 難関大ほどこの傾向が強い
- 33. 表現(単語・熟語・構文)の「言い換え」によるカモフラージュに注意! だから語彙力なのだ!
- 34. 「すり替え」のパターンを知れ 正解は「言い換え」不正解は「すり替え」だ!  
 ①人物のすり替え ②肯定・否定のすり替え ③時間・場所・頻度の副詞要素のすり替え ④数のすり替え  
 ⑤因果関係のすり替え ⑥条件関係のすり替え ⑦過度の一般化と過度の限定(極端キーワード) cf. 極端の法則  
 ⑧事実と比喻のすり替え ⑨前半○後半×のパターン ⑩故意の取り違え
- 35. 「消去法」の活用 常識的にオカシなものから消していけ!
- 36. プラス(+）・マイナス(-)のイメージに注意!
- 37. 「省略」は前と比べよ ～重複部分を省略するのだ! (同じ表現の繰り返しを避ける)
- 38. 「同じ」「違う」「別の」「他の」は指示語の一種 → 「何と同じか」「何と違うか」「何と別か」「何の他」を必ずチェック  
 「比較」構文が出たら「何と」「何を」比較しているのかを必ずチェック cf. comparable は「似ている」
- 39. ヒントは前後に必ず落ちている 下線部分だけではなく前後に目を配れ! 下線部分だけに気を取られてはダメ!
- 40. 単語の意味は「イメージ」でつかめ! 忘れない工夫を [例] on は「接触」 in は「内部」
- 41. 単語の記憶は「へん」と「つくり」で cf. 『英単語はアタマ・オナカ・シッポで攻略だ!』(自費出版、絶版)
- 42. 「接頭辞」と「接尾辞」で派生語を押さえろ! 主な「語幹」も知っておくと便利  
 <効果> (1)語彙力アップ (2)忘れにくい (3)未知語にも応用可能 (4)一生語彙の勉強を継続
- 43. 自分の日本語訳を読んで何を言っているかよく分からなければ間違っている証拠だ! 《正解の判別式》  
 <直前文の訳 → 答案の訳 → 直後文の訳>をワンセットで検算せよ  
 難解な箇所は身近な例で具体例を考えてみよ! [例] dilemma 「板挟み状態」(あちらを立てればこちらが立たず)
- 44. まず設問から読む習慣を 「何が問われているか」を頭に入れた上で本文を読む 設問を逆手に取って該当箇所を見つけることも
- 45. 内容一致問題は「部分把握型」《易》か「展開把握型」《難》か?
- 46. 答案作成の基本 ①文の構造を正しくとらえているか(美しさより正しさが優先)  
 ②日本語の意味が通っているか(誰もが理解できる分かりやすさ)
- 47. 答え方に注意 締め表現に気を配るのは答案作成の基本《重要》  
 「～はどのようなことか説明せよ」→ 「～ということ」  
 「～はどのように考えか説明せよ」→ 「～という考え」  
 「～の理由を述べよ」→ 「～であるから」
- 48. 字数制限に注意～答案の目安は制限字数の8割～9割  
 ●多すぎる場合⇒余分な情報が入っている (→内容を削らずに字数だけを削る)  
 ●少なすぎる場合⇒見逃している箇所がある
- 49. 答案を書いたら必ずもう一度読み返す～誤字・脱字・ケアレスミスは命取り! 1点の恐ろしさを知れ! 丁寧に!
- 50. 裏技10本～「八幡家の食卓」～奥の手の奥の手 (例)「長さの法則」 「仲間外れの法則」 「極端の法則」

## ■ 英語力の養成 (松江北高センター試験後の演習)

